

令和 8 年 7 月 2 9 日

造影剤検査を受けられる患者さんへ

ガストログラフィン経口・注腸剤の供給不足に伴う代替薬剤の使用について

現在、消化管造影検査などで使用される**ガストログラフィン経口・注腸用**は、全国的な供給不足が続いています。

このため当院では、必要な検査を継続して安全に実施するため、ガストログラフィンの代替薬剤として****「イオパミロン注 370(一般名:イオパミドール)」****を使用する場合があります。

イオパミロン注 370 について

イオパミロン注 370 は、通常、CT 検査や血管造影検査などで使用される造影剤です。消化管造影を目的とした使用は、日本では承認されていない使用方法のため**適応外使用**となります。

しかし、国内外において使用経験があり、消化管造影の代替造影剤として多くの報告があります。

当院では、患者さんの病状、検査の目的や必要性を十分に検討したうえで、医学的に適切と判断した場合に使用します。また、使用に際しては安全管理に十分配慮し、適切な観察を行います。

予想される副作用について

イオパミロン注 370 の使用にあたっては、造影剤に共通する副作用として、以下のような症状が起こる可能性があります。

- ・発疹、かゆみなどのアレルギー症状
- ・まれに重篤なアレルギー反応(ショック、アナフィラキシーなど)
- ・吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状
- ・誤嚥した場合には、肺炎などの呼吸器合併症を生じる可能性

検査中および検査後は、医師・看護師が状態を十分に観察します。万一、副作用が認められた場合には、速やかに必要な処置を行います。

本使用について、ご不明な点やご心配なことがありましたら、担当医または医療スタッフへお気軽にお尋ねください。

ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

都立墨東病院
院長 足立健介